

『霊長類研究』に掲載された学術論文のデータの公開に関する基本方針

2023年12月1日

日本霊長類学会編集委員会

1. データの公開

『霊長類研究』に掲載された学術論文（原稿種別：原著、短報、資料、調査・技術報告、総説、その他）の著者は、当該学術論文の元データを、国立研究開発法人科学技術振興機構が運営するデータリポジトリ（J-STAGE Data）で公開できる。公開されたデータには、DOIが付与される。

2. データの帰属

データは当該学術論文の著者あるいは著者の所属する機関に帰属する。

3. 公開可能なデータ

公開可能なデータは、以下のものとする。

- ・ 当該学術論文で用いた、調査・観測・実験・分析で得られた数値等を、表としてまとめたデータ
- ・ 当該学術論文で用いた、写真、グラフ、静止画像、動画など
- ・ 当該学術論文で発表したソフトウェアのコードや実験・解析・調査のプロトコルなど
- ・ 既往論文や公刊図書等に示された数値情報、国や自治体等が公表している資料の数値を著者が引用して集約・整理し、当該学術論文に使用したもの

個人的なメモ、研究ノート、研究日誌、研究グループ内の議事録、有体物（試料、標本、作品・収蔵品など）などのデータは公開対象とならない。

4. データの公開条件

データの公開条件等については、当該学術論文の著者が所属する大学・機関等のデータポリシーを遵守する。データのライセンス（第三者による利用条件）はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス（Creative Commons license）のCC BY-NC-ND 4.0（公開された論文データを使用する場合は非営利目的に限定し、改変は認めず、成果を発表するときはクレジットを明記する）を標準とする。ただし、著者は他のクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを選択することができる。

5. データの搭載・審査

著者は、公開したいデータ（本体および付随情報）を編集委員会から指定された方法でJ-STAGE Dataにアップロードする。編集委員会は、アップロードされたデータの付随情報の内容及びデータの形式をチェックし、必要に応じて著者に修正・再アップロードを指示する。データ本体の内容については、著者または著者の所属する大学・機関等が責任を有する。

6. データ公開のスケジュール

データは当該学术论文のオンラインでの公開と同時に公開される。なお、著者は上記「4. データの公開条件」に、さらに長期の非公開期間を設定することができる。

7. その他

データ公開についての仔細は、編集委員会の指示および国立研究開発法人科学技術振興機構の定める J-STAGE Data データポリシーに従う。